

公益社団法人 東京都臨床検査技師会 平成 26 年度 第 10 回理事会議事録

日時：平成 27 年 2 月 18 日（水） 19:00～21:30

場所：都臨技事務所

議長：千葉

書記：中村

出席：千葉、原田、杉岡、宮崎、中西、多田、小山、鈴木、佐藤、工藤、三橋、松村、星野、宿谷、米山、相馬、
中村、櫻井、下田、東海林監事

計 21 名

1. 理事行動報告

| | | |
|-------------|-----------|--------------------|
| 1 月 14 日（水） | データ標準化委員会 | 米山 |
| 1 月 19 日（月） | 学術部会 | 中西、原田、宿谷、星野、米山、相馬、 |
| 1 月 23 日（金） | フォーラム委員会 | 三橋、中村 |
| 2 月 2 日（月） | 表彰選考委員会 | 宿谷、中村 |
| 2 月 6 日（金） | 支部業務連絡委員会 | 小山、松村、三橋、佐藤、 |
| 2 月 6 日（金） | 地域保健共催部 | 多田、櫻井 |
| 2 月 10 日（火） | 会計部会 | 鈴木、工藤、浄土 |

2. 議事録確認

・第 9 回理事会議事録の確認

各理事へメールリングリストで配布し修正と加筆が行われた後で承認とする。

2. 報告事項および審議事項

○各部局・委員会報告

1) 学術部

(1) 学術部会

・マタニティー&ベビーフェスタ 2015 への協力依頼について

日臨技より 4 月 4 日（土）、5 日（日）に開催されるマタニティー&ベビーフェスタ 2015 への協力依頼があり、学術部会、各支部長を通じて協力者を募る。

・平成 27 年度予算案について

各研究班班長へは次年度事業費への再検討をお願いした。

・検体採取等に関する厚生労働省指定講習会について

日臨技へ講師依頼、会場責任者、実務委員の依頼も含めて、日程が決まらなると依頼できないため 3 か月先までの日程を教えてください。

(2) データ標準化委員会

・日臨技精度保証施設認証制度について、認定基準評価項目が 90%に満たない施設への講習会企画が日臨技執行理事会にて却下され再検討中との報告があった。

・来年度日臨技都道府県助成金事業について、現在全国 170 施設基幹施設へ配布されている 30,000 円の基幹施設助成金が

来年度は廃止の方向性で検討されているとの報告があった。

- ・共用基準範囲について、平成 28 年 4 月を目途に導入時期を日臨技で検討中である。
- ・2月 26 日（木）精度管理調査報告会を東京山手メディカルセンターで開催する。

（3）生涯教育制度実行委員会

生涯教育対象行事登録者数（1月）

| (No.) | (行 事 名) | (開催日) | (生涯教育点) | (登録者数) |
|-------|--|----------|---------|--------|
| 1、 | (免疫血清) 第 6 回免疫血清研修会 | 1 月 15 日 | 20 点 | 23 名 |
| 2、 | (微生物) 第 8 回微生物検査研究班研修会 | 1 月 16 日 | 20 点 | 93 名 |
| 3、 | (輸血) 平成 26 年度輸血検査研究班実技講習会 輸血に必要な技術と考え方を学ぶ 中級コース | 1 月 18 日 | 20 点 | 20 名 |
| 4、 | (一般) 第 3 回東京都臨技一般検査研究班研修会 | 1 月 21 日 | 20 点 | 84 名 |
| 5、 | (生理) 睡眠検査の基礎知識 | 1 月 27 日 | 20 点 | 72 名 |
| 6、 | (臨床化学) 第 5 回臨床化学検査研究班研修会 | 1 月 28 日 | 20 点 | 44 名 |
| 7、 | (公衆衛生) 第 3 回公衆衛生検査研究班 研修会 | 1 月 29 日 | 20 点 | 34 名 |
| 8、 | (生理) 乳腺超音波検査 新カテゴリーを使った診断 | 1 月 29 日 | 20 点 | 53 名 |
| 9、 | (一般) 第 4 回東京都臨技一般検査研究班研修会 | 1 月 30 日 | 20 点 | 68 名 |
| 10、 | (生理) とことん悩みを解決しよう不整脈・ホルター心電図 | 1 月 31 日 | 20 点 | 60 名 |

自己申告 会場研修

| | | | | |
|----|-------------------|-----------|---------|-----|
| 1、 | 微生物学英語勉強会 | 9 月 9 日 | 基礎-10 点 | 1 名 |
| 2、 | 第 42 回国臨協関信支部学会 | 9 月 13 日 | 専門-10 点 | 3 名 |
| 3、 | 第 3 回国臨協関信支部主催研修会 | 9 月 20 日 | 専門-10 点 | 1 名 |
| 4、 | 微生物学英語勉強会 | 10 月 14 日 | 基礎-10 点 | 1 名 |
| 5、 | 微生物学英語勉強会 | 11 月 11 日 | 基礎-10 点 | 1 名 |
| 6、 | 第 18 回関東感染症懇話会 | 12 月 5 日 | 専門-10 点 | 1 名 |
| 7、 | 微生物学英語勉強会 | 12 月 9 日 | 基礎-10 点 | 1 名 |
| 8、 | 第 4 回国臨協関信支部主催研修会 | 12 月 13 日 | 専門-10 点 | 3 名 |
| 9、 | 微生物学英語勉強会 | 1 月 13 日 | 専門-10 点 | 4 名 |

（4）編集委員会

- ・支部学術研修会テキストについて

表紙を作成して案を送付する。4 月 1 週目には発送予定である。

2) 学会運営部

- ・2月 9 日 学会企画委員会を開催した。
- ・前回の反省点を再度確認し、次回に生かすようにする。
- ・都臨技会員の参加率向上に努め、約 5%の参加率を目指す。

3) 支部

(1) 支部業務連絡委員会

- ・次年度支部学術研修会日程について

各支部から上半期の開催日程が提出された。

東支部：4月28日に開催予定

西支部：4月から第2火曜日で定期開催。会場：三多摩労働会館

南支部：4月から第3火曜日で定期開催。会場：日臨技会館

北支部：4月から第2木曜日で定期開催。会場：東京山手メディカルセンター

開催回数は、公衆衛生研究班を含む計9回/年で研修会場を予約する。

- ・役員選出委員、選挙管理委員について

各支部より6名の委員が選出された。

- ・平成26年度施設連絡責任者会議について

2月13日(金)東京山手メディカルセンター4階講堂にて開催した。

施設連絡責任者の参加者数は116名であった。

出席者から検体採取講習会に関する問合せが多く寄せられた。

(2) フォーラム委員会

- ・3月7日(土)に第15回都臨技フォーラム『知っておきたい!! 輸入感染症～話題の感染症に対応するには?～』を開催する。

- ・第16回都臨技フォーラムは8月開催予定とする。

対象は一般都民向け遺伝子の内容で企画検討している。内容の候補としてはがん遺伝子、糖尿病関連等で興味を持たれるよう配慮する。会場についても駅周辺など来場しやすい会場を検討している。

4) 地域保健共催部

- ・学生対象講演会 参加申込者127名

臨地実習の内容で行う。学生会員新入会に備えて会員証を準備する。

- ・看護フェスタを5月16日(土)に開催する。

簡易血糖測定、骨密度測定、検査相談を実施する。当会ブースが常に混雑しているため、骨密度検査を腕で行うことも検討している。また血糖測定器の台数を増やして流れを良くする。案内係はビブスを着用し都臨技のアピールを行うようにする。

- ・都臨技リーフレット作成について

リーフレット作成にあたり、前回作成成分を持っている方は提供をお願いする。

(1) STI 予防委員会

- ・2月21日(土) 会員向けのSTI研修会を開催する。

- ・STI 予防教室は、学生に対して都臨技や臨床検査技師を広報する場として配布物などを検討する。

5) 会計部

(1) 会費収入状況【平成27年1月31日現在】

| | 平成26年度実績 | 前年同月実績 |
|-------------|----------|--------|
| 入会金納入者合計数 | 65名 | 394名 |
| （入会金納入者数） | (65名) | (364名) |
| （減免入会金納入者数） | (0名) | (30名) |
| 正会員会費納入者数 | 4,801名 | 4,523名 |
| 学生会員入会金納入者 | 122名 | 286名 |
| 賛助会員会費納入社数 | 80社 | 78社 |
| 未納者数 | 名 | 1名 |

(2) おもな事業活動収支について(一部)

◎収入

- ・雑収入 985,000円：新春のつどい参加費等

◎支出

- ・管理費 懇親会費 1,689,196円：新春のつどい
- ・地域保健共催費 100,000円：稲城まつり仮払い

(3) 平成27年度予算について

- ・平成25年度決算およびH26年度執行率を加味し、最終予算案を提示する

6) 庶務部

会員数【平成27年1月31日現在】

| | 平成26年度 | 平成25年度 |
|-----------|--------|--------|
| 会員数 | 4783名 | 4503名 |
| 都臨技会費免除会員 | 46名 | |
| 賛助会員 | 79社 | 79社 |

(1) 表彰選考委員会

- ・小島三郎記念技術賞と福見秀雄賞、日臨技優秀論文賞の推薦状を提出した。
- ・東京都功労者表彰について
診療放射線技師会の東京都功労表彰者は検診事業を長く務めた方が受賞した。都臨技でも対象者となるか受賞の詳細を確認する。

7) 事務局

- ・都臨技 HP 使用アドレスについて
次回理事会 3月18日までに不要なアドレスがあれば削除する。また今後発行する際には取決めが必要である。必要の連絡がなければ自動削除する。
- ・平成27年度予算案・事業案について
平成27年度事業計画案と予算案については3月末までに東京都に提出しなければならない。

8) 日臨技報告

・検体採取等講習会について

東京都では4月までに会員の16%（715名）が受講予定。埼玉は16%（400名弱）である。

官報にも掲載され、法令上でも4月1日から実施することは可能となった。

・検査説明の出来る臨床検査技師育成研修会

都臨技会員の10%の約500名を受講予定としている。日臨技助成事業となるので、都臨技のみ会員は受講できない。

3. 審議事項

(1) 幹事変更願い（一般検査）について

- ・所属、幹事歴、業績等の確認を行い幹事変更は承認された。

(2) 日臨技生涯教育助成金について

- ・学術部だけでなく、支部業務連絡委員会で審議して次年度で事業案があれば学術部へ連絡する。
- ・日臨技に請求済み（予算案に組み込まれていない）

(3) 新入会会員について

- ・新入会会員15名（都臨技のみ会員1名含む）の入会は承認された。

(4) 後援名義使用許可願いについて

- ・一般社団法人日本呼吸器学会「第8回呼吸の日記念フォーラム（2015）」の後援名義使用は承認された。

(5) 役員選出委員、選挙管理委員について

- ・役員選出委員は各支部より6名選出され審議を行い承認された。
- ・選挙管理委員会の担当理事については宮崎理事とした。

(6) 私立医科大学臨床検査技師会後援依頼について

- ・「私立医科大学臨床検査技師会平成27年度学術講演会」生涯教育研修後援依頼と都臨技HP掲載について承認された。

(7) 東京都臨床工学技師会後援名義使用許可について

- ・第14回都民公開講座「災害医療派遣チームDMAT」後援名義使用許可とHP掲載について承認された。

4. その他

(1) 平成27年度事業・予算案について

- ・会計部より平成27年度予算調整額を提示された。各事業費は調整したが各項目の減額はしていない。
- ・検査普及啓発 会員証発行費用など決まっている項目の金額は調整していない。都臨技HP、管理費用約21万円、学術部HP管理費用約7万円となっている。
- ・都学会に学会コンサルタントの導入を検討してみる。導入費用は160~200万円程度である。
- ・機関紙発行費用の増額は発行会社の変更と支部学術研修会テキスト発行費用も含まれている。
- ・会館取得PTの早期始動が必要であり7月を目途に検討中である。

平成 27 年 2 月 18 日 (水)

公益社団法人東京都臨床検査技師会

議長
(千葉)

千葉 正志



監事
(東海林)

東海林 治三郎

